

# I 調査の概要

## 1 調査目的

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」（平成 13 年法律第 31 号。以下、「配偶者暴力防止法」という。）では、国及び地方公共団体は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に資するため、調査研究の推進に努めるよう規定している。また、「第 3 次男女共同参画基本計画」（平成 22 年 12 月 17 日閣議決定）では、女性に対する暴力についての的確な施策を実施し、社会の問題意識を高めるため、定期的・継続的な実態把握の調査に努めることとしている。

男女間を取り巻く環境の変化に応じた被害傾向の変化等に適切に対応するため、これまで、平成 11 年度、平成 14 年度、平成 17 年度、平成 20 年度、平成 23 年度に、全国 20 歳以上の男女 5,000 人（平成 17 年度以前は 4,500 人）を対象に、無作為抽出によるアンケート調査を実施している。

前回調査から 3 年後に当たる平成 26 年度においても、これらの先行調査を踏まえつつ、今後の男女間における暴力対策の推進に資することを目的とし、国内の男女間における暴力の実態を把握する。

## 2 調査項目

- (1) 配偶者暴力防止法についての認知
- (2) 夫婦間での行為についての暴力としての認識
- (3) 配偶者からの被害経験
- (4) 交際相手からの被害経験
- (5) 特定の異性からの執拗なつきまとい等の経験
- (6) 異性から無理やりに性交された経験（女性のみ）
- (7) 男女間の暴力を防止するために必要な対策・体制

## 3 調査対象

- (1) 母集団 全国 20 歳以上の男女
- (2) 標本数 5,000 人
- (3) 抽出法 層化二段無作為抽出法

## 4 調査時期

平成 26 年 12 月

## 5 調査方法

郵送留置訪問回収法

（回収は、対象者自身が回収用封筒に記入済みの調査票を密封したものを、調査員が回収した。また、対象者本人が希望した場合には、郵送回収またはオンライン回答とした。）

## 6 調査実施委託機関

一般社団法人 中央調査社

## 7 回収結果

(1) 有効回収数（率） 3,544 人（70.9%）

（内訳） 女性 1,811 人 男性 1,733 人

性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
女 性	20～29 歳	213	132	62.0	男 性	20～29 歳	236	144	61.0
	30～39 歳	374	260	69.5		30～39 歳	386	233	60.4
	40～49 歳	426	329	77.2		40～49 歳	453	313	69.1
	50～59 歳	393	305	77.6		50～59 歳	383	269	70.2
	60 歳以上	1,094	785	71.8		60 歳以上	1,042	774	74.3
			2,500	1,811		72.4	計		2,500

(2) 回収不能数（率） 1,456 人（29.1%）

回収不能理由内訳

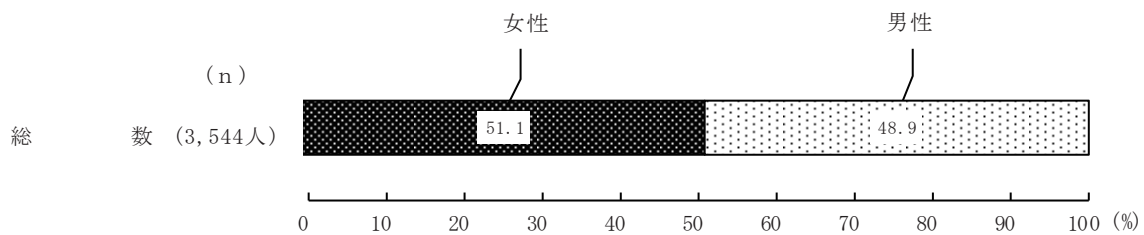
転居	24 (0.5%)	調査票不達	2 (0.0%)
長期不在	36 (0.7%)	郵送依頼未回収	168 (3.4%)
一時不在	366 (7.3%)	web 希望未回答	77 (1.5%)
住所不明	15 (0.3%)	白票	44 (0.9%)
拒否	528 (10.6%)	その他	196 (3.9%)

## 8 回答者の属性

### (1) 性別

F 1 あなたの性別。(○は1つ)

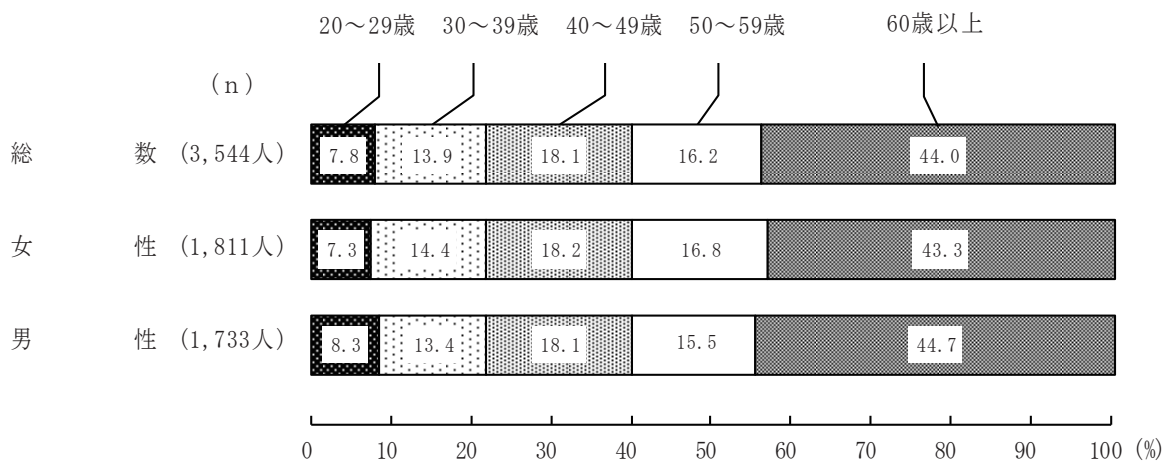
図1 性別



### (2) 年齢

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

図2 年齢



### (3) 職業

F 3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
(○は1つ)

図3 職業

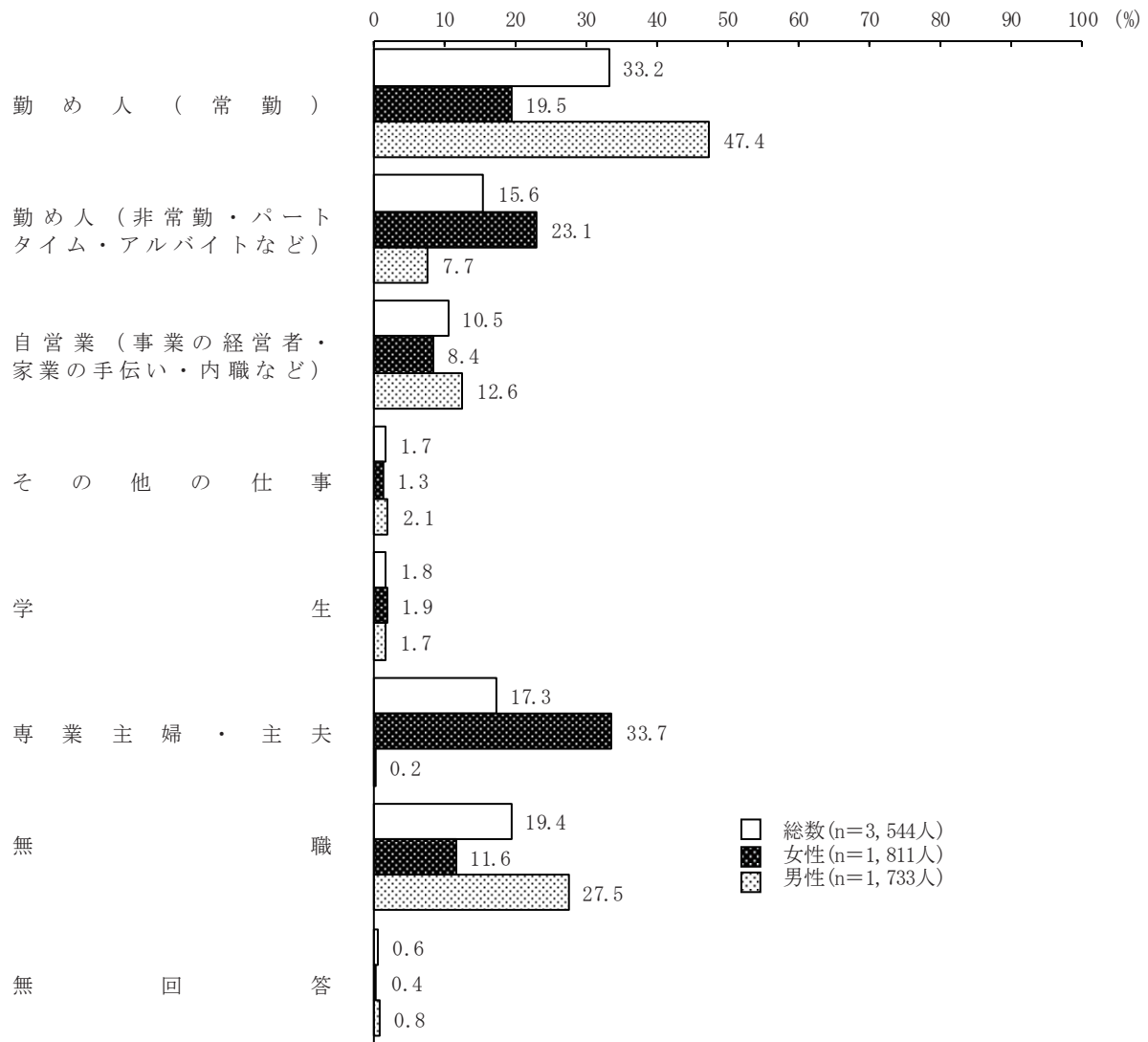
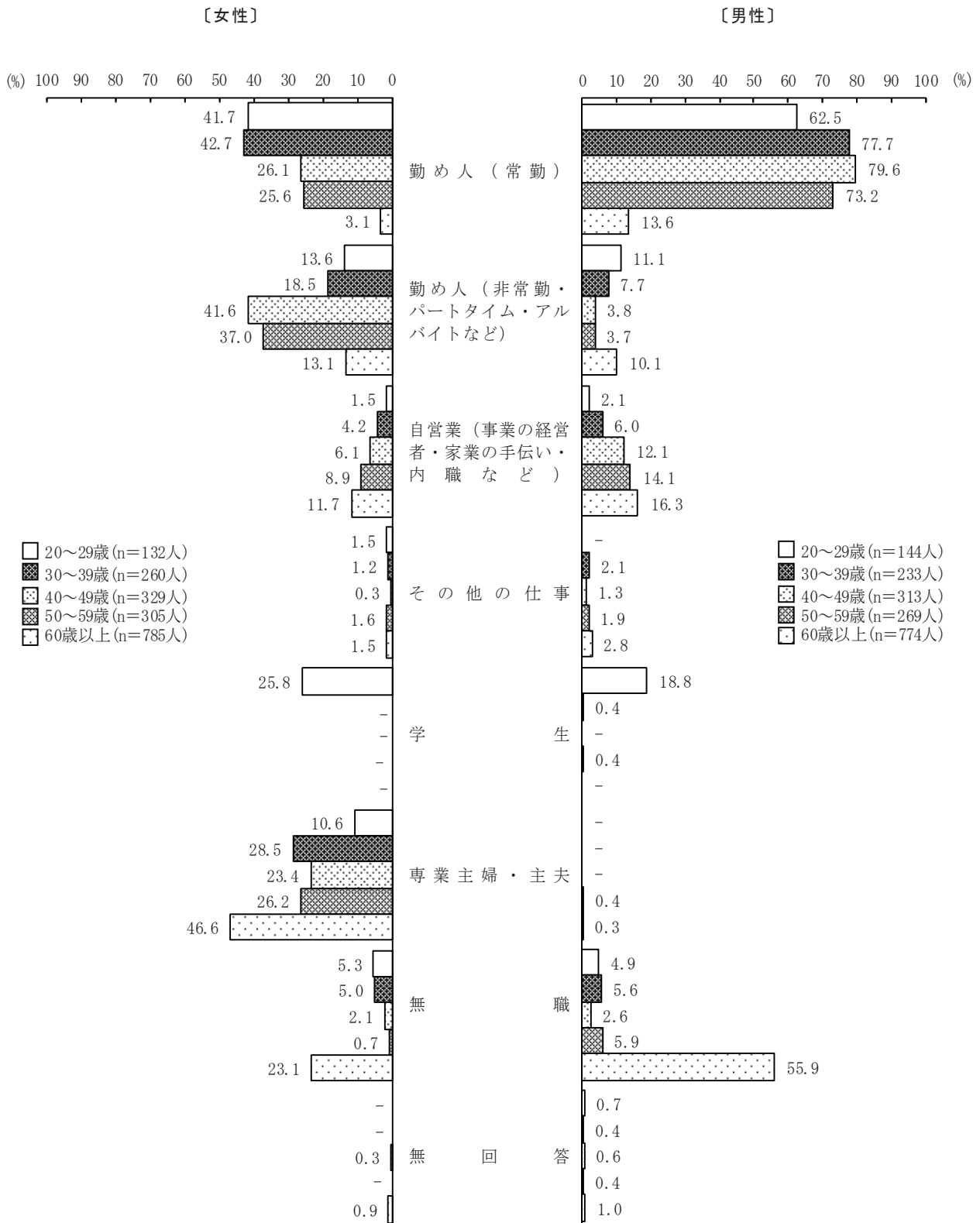


図4 職業（性・年齢別）



#### (4) 子どもの有無

F 4 あなたには、お子さんはいらっしゃいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、「1. いる」と回答した方は、お子さんの成長段階についてもご回答ください。(○はいくつでも) なお、人数は関係ありませんので、例えば、小学生の子が2人以上いる場合でも「2. 小学生」に○をつけてください。

図5 子どもの有無

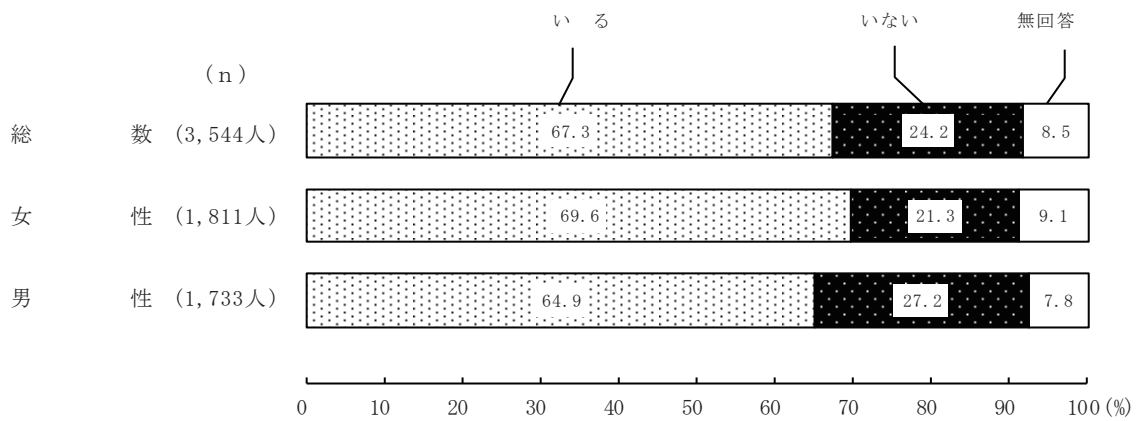
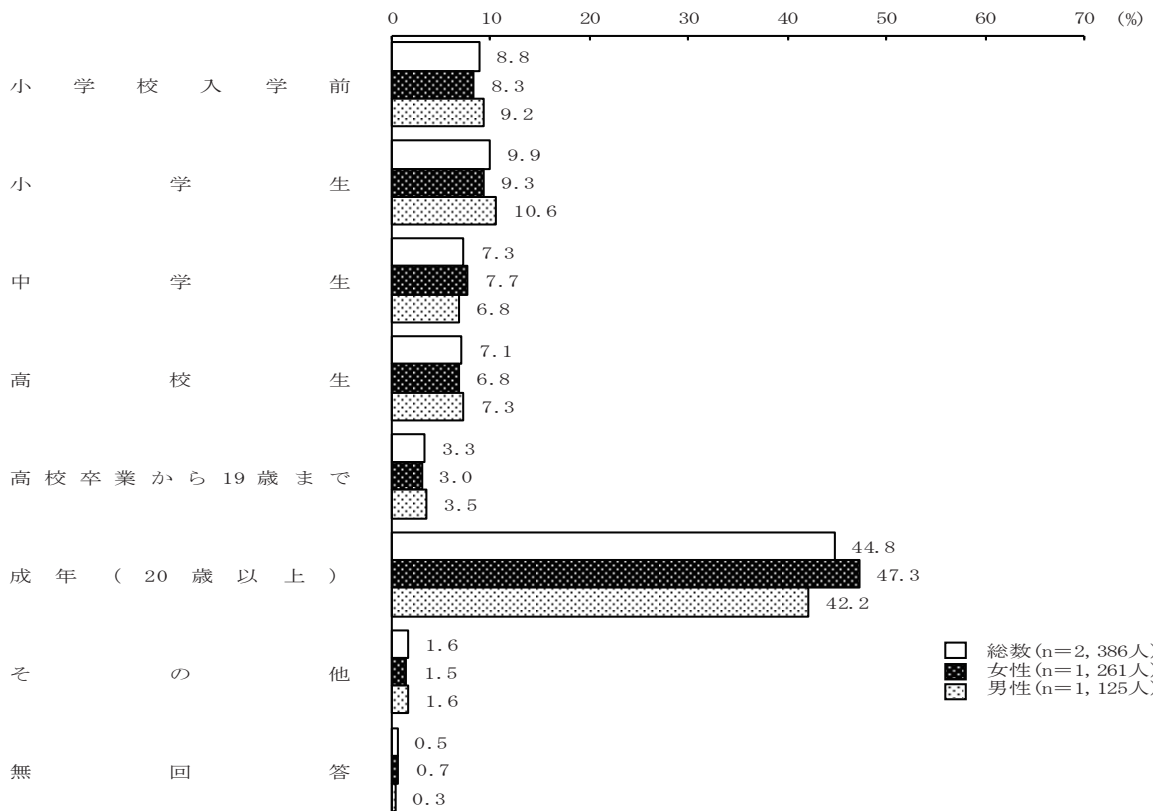


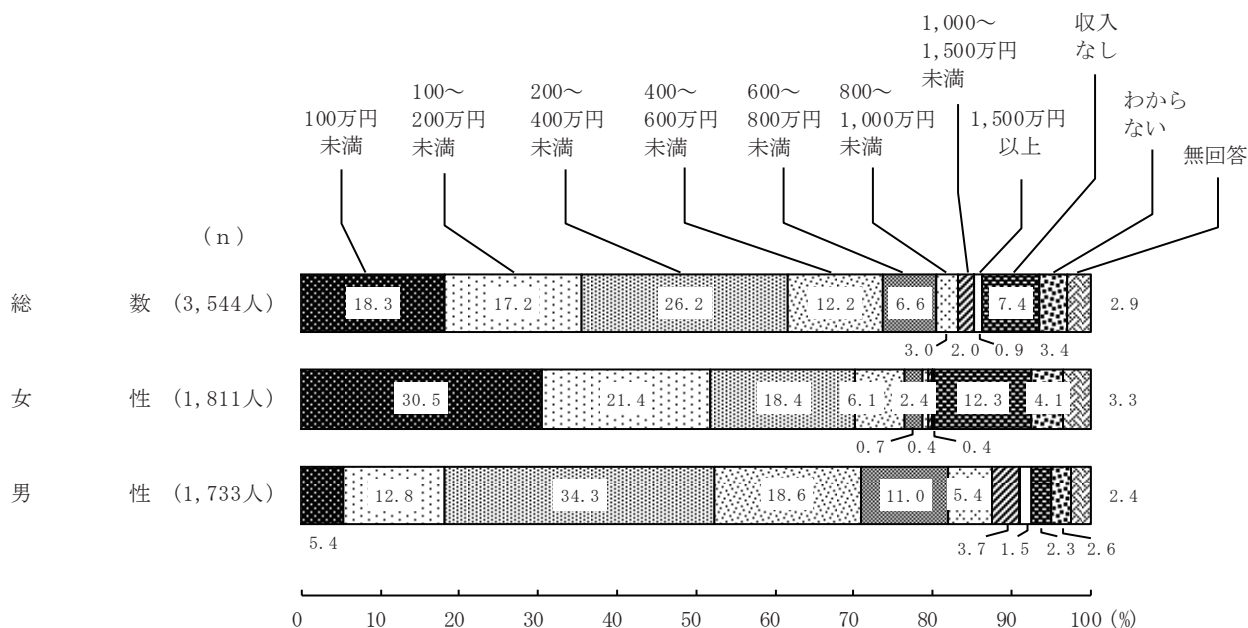
図6 子どもの成長段階 (複数回答)



## (5) 年間収入

F5 あなたご自身の平成25年中（平成25年1月1日～12月31日）の年間収入（税込）はいくらですか。年金や資産収入などすべての収入を含めて、あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

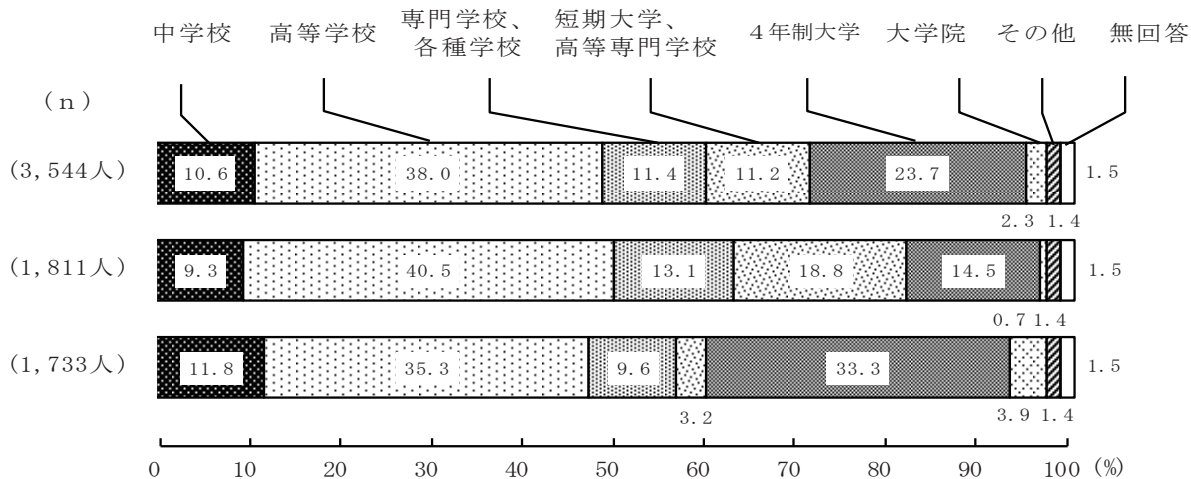
図7 年間収入



## (6) 最終学歴

F6 あなたが最後に卒業した学校は次のどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。中退の場合は、最後に卒業した学校をお答えください。また、在学中の場合は、現在在学している学校をお答えください。（○は1つ）

図8 最終学歴



(7) 未既婚

問4 あなたは、現在、結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)  
 なお、ここでの「結婚」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます。

図9 未既婚

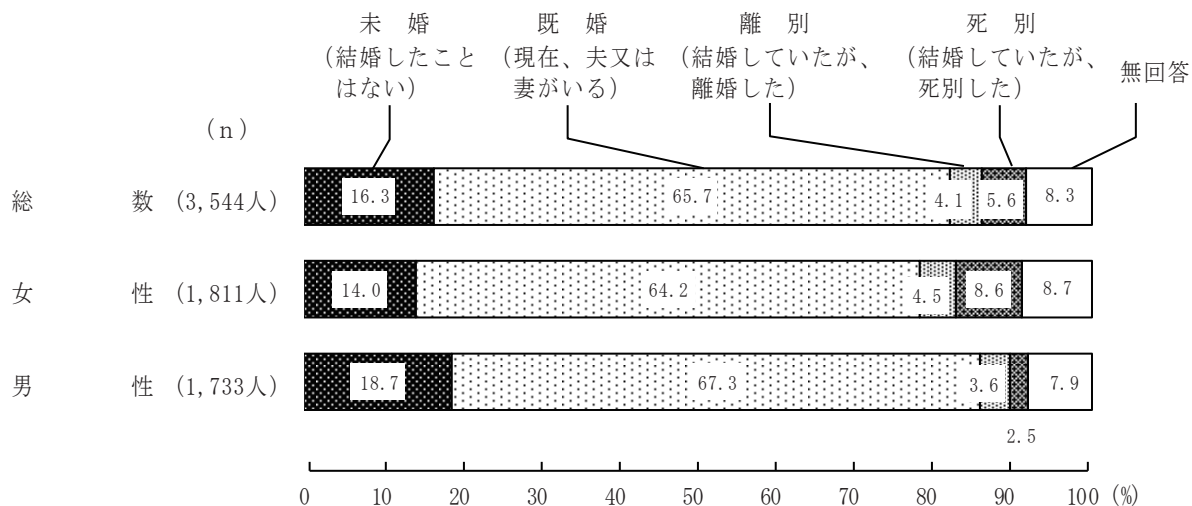
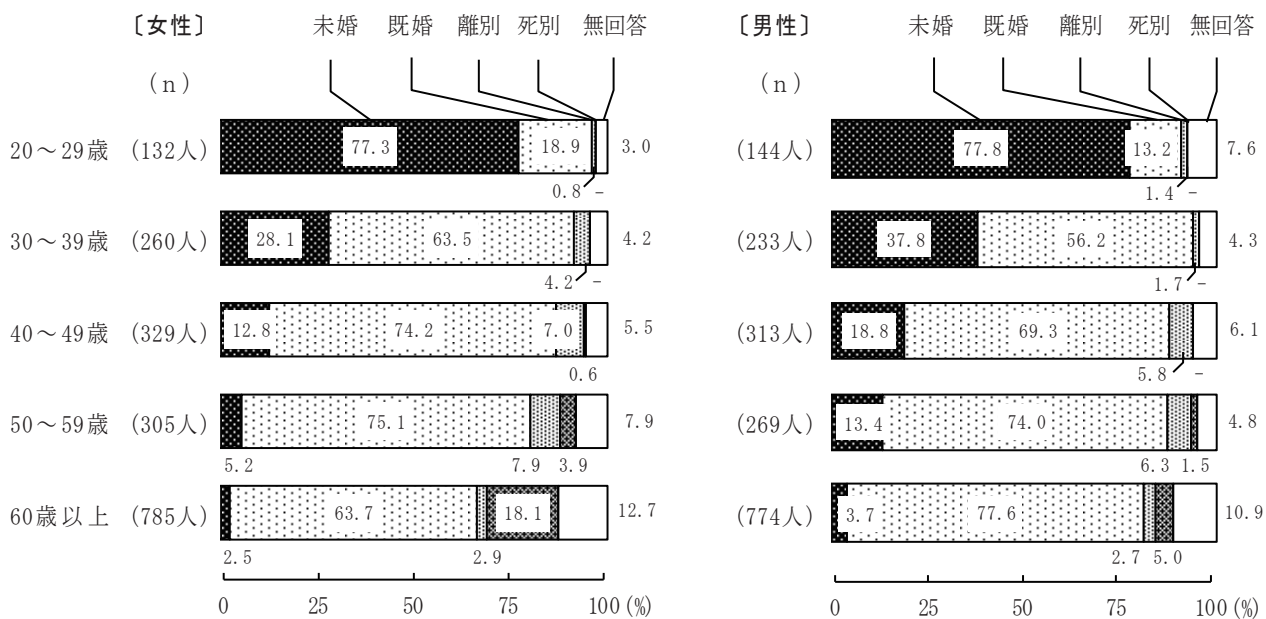


図10 未既婚 (性・年齢階級別)

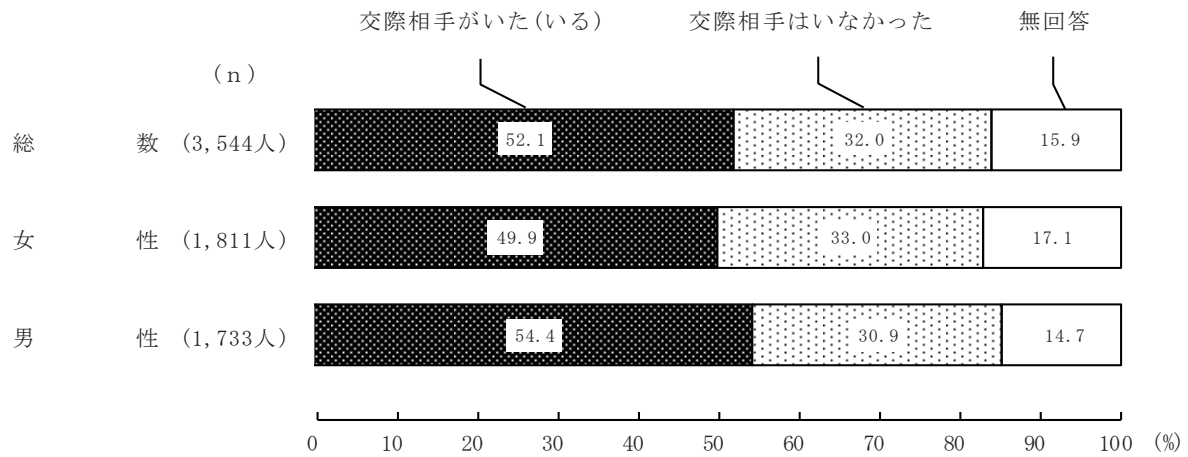




## (8) 交際相手の有無

問 14 あなたには、これまでに交際相手がありましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
現在、結婚している方については、結婚前についてお答えください。なお、ここでいう「交際相手」には、婚姻届を出していない事実婚は含みません。(○は1つ)

図 11 交際相手の有無



## 9 この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数 (3,544 人) または分類別の回答者数のことである。
- (2) 図表中の M.T.とは、複数回答の場合に、回答数の合計を回答者数 (n) で割った比率のことである。2つ以上の回答を認めているため、その値は通常 100%を超える。
- (3) 百分比は、小数点第 2 位で四捨五入して、小数点第 1 位までを表示した。四捨五入したため、合計値が 100%を前後することがある。
- (4) 「(○はいくつでも)」と表示のある質問は、2つ以上の複数回答を認めているため、回答計は 100%を超える。
- (5) 図表中 “-” は、回答者が皆無であることを、“0.0” は 0.05 未満の数値であったことを示す。
- (6) 「Ⅱ 調査結果の概要」では、分類別の回答者数が 50 人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、分類別の分析の対象からは外している。
- (7) 本調査で用いた都市規模区分は次のとおりである。

大都市 (東京都区部、政令指定都市)

中都市 (人口 10 万人以上の市)

小都市 (人口 10 万人未満の市)

町 村

〔参 考〕本報告書で結果を引用した過去の調査

- 平成 23 年度「男女間における暴力に関する調査」(内閣府)  
満 20 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 3,293 人 (65.9%)  
\* 本文中では、「平成 23 年度調査」と表記している。
- 平成 20 年度「配偶者等からの暴力に関する調査」(内閣府)  
満 20 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 3,129 人 (62.6%)  
\* 本文中では、「平成 20 年度調査」と表記している。
- 平成 17 年度「配偶者等からの暴力に関する調査」(内閣府)  
満 20 歳以上の男女 4,500 人、有効回収数 2,888 人 (64.2%)  
\* 本文中では、「平成 17 年度調査」と表記している。
- 平成 14 年度「配偶者等からの暴力に関する調査」(内閣府)  
満 20 歳以上の男女 4,500 人、有効回収数 3,322 人 (73.8%)  
\* 本文中では、「平成 14 年度調査」と表記している。
- 平成 11 年度「男女間における暴力に関する調査」(内閣府)  
満 20 歳以上の男女 4,500 人、有効回収数 3,405 人 (75.7%)  
\* 本文中では、「平成 11 年度調査」と表記している。